

▽理科の目標

自然現象に対する興味・関心を高め、目的意識を持って実験・観察を行うことにより、問題解決の能力や科学的な見方、考え方を身に付ける。

▽評価の観点

1 自然事象についての知識、実験・観察の技能を身につけることができたか。

2 学んだ知識を活用し、課題に対して科学的思考に基づいた判断・表現を行うことができたか。

3 自然事象に対して主体的に学び、理解を深めようと取り組めたか。

4 友人と学び合い、課題に対して理解を深めることができたか。

▽評価の方法

授業中の態度や発言・発表のようす、実験・観察の技能、ノートやレポートなどの提出物、自己評価、中間、期末テストや小テストなど総合的に評価します。

▽特色ある学習方法

- ・実験・観察の重視
- ・コンピュータや本や視聴覚教材の積極的な利用
- ・授業カード（自己評価カード）の活用
- ・調べ学習を入れる（まとめや発表）

▽時間

- 1学期 週3時間
2学期 週3時間
3学期 週3時間

| | 学習内容 | 学習のねらい |
|-------------|---|--|
| 1 学 期 | 〔いろいろな生物とその共通点〕 1 生物の観察と分類のしかた 2 植物の分類 3 物の分類 | 花・葉・根・茎の観察し、つくりの特徴を見いだす。また、光合成と呼吸について理解する。 種子植物を中心に、いろいろな特徴をもとに植物を分類する。 セキツイ動物、無セキツイ動物を分類する。 |
| | 〔身のまわりの物質〕 1 身のまわりの物質とその性質 | 金属や白い粉末の物質について、実験を通して性質を調べ、区別することができる |
| 2 学 期 | 2 気体の性質 | 気体の発生方法や性質について理解する。 |
| | 3 水溶液の性質 | 水溶液に物質がとけている状態や取り出す方法を説明できる。 |
| | 4 物質の姿と状態変化 | 沸点・融点が物質によって決まっていることを説明できる。 |
| 3 学 期 | 〔身のまわりの現象〕 1 光の世界 | 光の反射や屈折の実験凸レンズによる像の実験から特徴や規則性を見つけたす。 |
| | 2 音の世界 | 音の大小や高低と物体の振動を調べる実験を行い、その関係を見出す。 |
| | 3 力の世界 | 物体に力がはたらくとどうなるか、力の表し方を理解し表現できる |
| 3 学 期 | 〔大地の変化〕 1 火をふく大地 | 火山や火成岩について、マグマや鉱物と関連づけて説明できる。 |
| | 2 動き続ける大地 | 地震の揺れや原因について理解する。 |
| | 3 地層から読み取る大地の変化 | 地層のでき方や化石について、観察を通して理解する。 自然の恵みと災害について理解を深める。 |

▽理科の目標

自然現象に対する興味・関心を高め、目的意識を持って実験・観察を行うことにより、問題解決の能力や科学的な見方、考え方を身に付ける。

▽評価の観点

- 1 自然事象についての知識、実験・観察の技能を身につけることができたか。
- 2 学んだ知識を活用し、課題に対して科学的思考に基づいた判断表現を行うことができたか。
- 3 自然事象に対して主体的に学び、理解を深めようと取り組めたか。
- 4 友人と学び合い、課題に対して理解を深めることができたか。

▽評価の方法

授業中の態度や発言・発表のようす、実験・観察の技能、ノートやレポートなどの提出物、自己評価、中間、期末テストや小テストなど総合的に評価します。

▽特色ある学習方法

- ・実験・観察の重視
- ・コンピュータや本や視聴覚教材の積極的な利用
- ・実験観察プリントの活用
- ・話し合い活動・調べ学習を取り入れる（まとめや発表）

▽時間

- | | |
|------|------|
| 1 学期 | 週4時間 |
| 2 学期 | 週4時間 |
| 3 学期 | 週4時間 |

| | 学習内容 | 学習のねらい |
|-------------|--------------------------------|---|
| 1 学 期 | 〔 化学変化と原子・分子 〕 1 物質のなり立ち | 物質の化合・分解を通して、すべての物質が原子からできていることを理解する。 |
| | 2 物質どうしの化学変化 | 原子・分子の結びつきによって化学変化が起ることを理解する。 |
| | 3 酸素がかかわる化学変化 | 化学変化の前後で質量が変化しないことをみつけだす。また反応する物質同士の質量には、一定の関係があることを理解する。 |
| | 4 化学変化と物質の質量 | |
| | 5 化学変化とその利用 | |
| 2 学 期 | 〔 生物のからだのつくりとはたらき 〕 1 生物と細胞 | 動物の生活とからだのしくみの関係について理解する。 |
| | 2 植物のからだのつくりとはたらき | 生命を維持するためのからだのしくみについて、観察等を通して理解する。 |
| | 3 動物のからだのつくりとはたらき | 植物と動物のからだのつくりの共通点・相違点を見出すとともに、からだの動くしくみについて理解する。 |
| | 4 刺激と反応 | |
| 3 学 期 | 〔 天気とその変化 〕 1 気象観測 | 気象観測の仕方を学び、天気と気温・湿度・気圧の関係を見つけたす。 |
| | 2 雲のでき方と前線 | 霧や雲がどのような条件でできるのかを確認し、前線の特徴を理解することにより、天気の変化を説明できる。 |
| | 3 大気の動きと日本の天気 | |
| 3 学 期 | 〔 電気の世界 〕 1 静電気と電流 | 電流の特徴から、電流と電圧の関係を見つけたす。また、回路のちがいによる電流・電圧の特徴を理解する。 |
| | 2 電流の性質 | |
| | 3 電流と磁界 | 電流と磁界の関係、放射線についての知識を深める。 |

▽理科の目標

自然現象に対する興味・関心を高め、目的意識を持って実験・観察を行うことにより、問題解決の能力や科学的な見方、考え方を身に付ける。

▽評価の観点

- 1 自然事象についての知識、実験・観察の技能を身につけることができたか。
- 2 学んだ知識を活用し、課題に対して科学的思考に基づいた判断・表現を行うことができたか。
- 3 自然事象に対して主体的に学び、理解を深めようとして取り組めたか。
- 4 友人と学び合い、課題に対して理解を深めることができたか。

▽評価の方法

授業中の態度や発言・発表のようす、実験・観察の技能、ノートやレポートなどの提出物、中間、期末テストや小テストなど総合的に評価します。

▽特色ある学習方法

- ・実験・観察の重視
- ・コンピュータや本や視聴覚教材の積極的な利用
- ・実験、観察プリントの活用
- ・調べ学習を取り入れる（まとめや発表）

▽時間

- | | |
|------|--------|
| 1 学期 | 週 4 時間 |
| 2 学期 | 週 4 時間 |
| 3 学期 | 週 4 時間 |

| | 学習内容 | 学習のねらい |
|--|---|--|
| 1 学 期 | 〔化学変化とイオン〕 1 水溶液とイオン 2 酸・アルカリとイオン 3 化学変化と電池 | 水溶液中の電流からイオンの存在を学習する。また電池のしくみや酸性やアルカリ性は、特定のイオンによって性質が現れることを学習する。 |
| | 〔生命の連続性〕 1 生命の成長と生殖 2 遺伝の規則性と遺伝子 3 生物の多様性と進化 | 生命は生殖によって個体をふやし、細胞分裂により成長する。また、その生物の特徴を遺伝のしくみによって子孫に伝えること、生物の進化を学習する。 |
| | 2 学 期 | 〔運動とエネルギー〕 1 物体の運動 2 力のはたらき方 3 エネルギーと仕事 |
| 〔地球と宇宙〕 1 地球の運動と天体の動き 2 月と金星の見え方 3 宇宙の広がり | | 太陽系やその外側の宇宙の広がりについて学習する。 また、地球の自転や公転による天体のみかけの動きや月と惑星の見え方について学習する。 |
| 3 学 期 | | 〔地球とわたしたちの未来のために〕 1 自然の中の生物 2 自然環境の調査と保全 3 科学技術と人間 4 地域とつながる 5 持続可能な社会をつくるために |